

Re:Born

ANIMAL B A T O N

レインボーアイテムでつなく未来のペット社会の実現

Re:Bornアニマルバトンプロジェクト

2025.1.10(AF)



KPI 4: 低負担飼養者(里親)増加

KPI 1: 家庭系ペットフードロス減少・ペットロスト品アップサイクル



KPI x 5 = KGI: 循環型社会課題解決

ペット共生型福祉施設・賃貸物件

- コミュニティ形成による
- ・孤立
- ・飼育放棄
- ・苦情の軽減

連携保護団体からの譲受家庭を支援

終生飼養

- ひとり親家庭
- 高齢者家庭
- 独居家庭
- 低所得者家庭
- 災害被災者

でも飼養者支援によりペットが飼える

- ・健康寿命促進
- ・孤独の軽減
- ・育児ストレスの軽減
- ・情操教育
- ・家族の会話・散歩が増える
- ・外部コミュニティ参加

伴走型支援

負担軽減

- (民間)愛玩動物保護団体
- (行政)動物愛護管理センター



KPI 3: 犬猫殺処分減少

KPI x 5

KGI: 循環型社会課題解決

PPP型
ペット
災害備蓄

行政

災害時連携協定
ペット防災先進都市宣言

備蓄拠点
(ペット防災連携企業)

(企業)ペット関連事業所・店舗
(学校)動物系専門学校

重大災害発生

支援要請

DPET = Disaster Pet Emergency Team

ペット共生被災者

災害逸走保護犬猫

シェルター

KPI 5: 公共型災害用ペット品備蓄

① 寄付・提供

残しもの・備えもの

② 寄付・買取

遺しもの・供えもの

ペットロスト

ペット葬儀場



レインボーアイテム

- フード、おやつ、水、
- ペットシート、玩具、
- 皿、リード、クレート、
- ゲージ、防臭剤 etc.



連携 X

売れのこり

規格外製品

在庫整理品

販売期限品

メーカー
卸会社
販売店



KPI 2: 事業系ペットフードロス減少



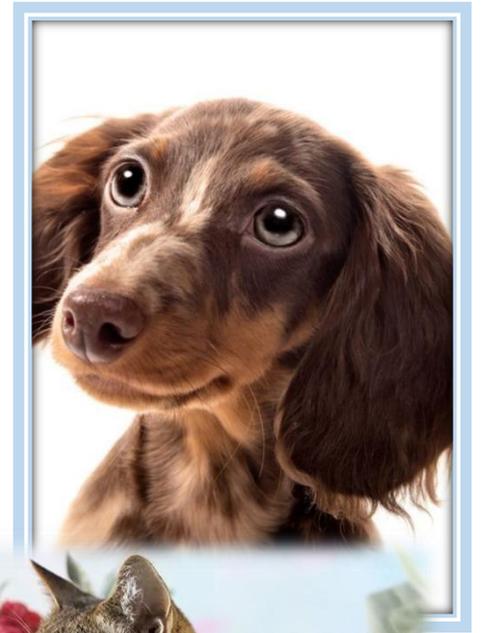
—5つのペット社会課題の解決へ—

KPI 1 : 家庭系ペットフードロス減少・ペットロスト品アップサイクル

注目される事のなかったペットロストによる家庭内でのフードロスやペット用品廃棄。飼い主の想いを廃棄せず、『Re:Born』は、独自にその解決活用を図ります。

大切な家族であるペットもいつか必ず虹の橋を渡ってしまいます。悲しい事ですが。そしてペットロストのお家にはフードやペット用品が遺されます。またペットが亡くなると今は大半がペット葬儀会社にて見送られ、その際たくさんのフード類が供えられます。その双方は共に飼い主にとっては思い出があるにもかかわらず、いずれ廃棄されます。その想いの詰まったペットロスト品をゴミにするのではなく「レインボーアイテム」として『Re:Born』に託して頂き、「遺しもの」を「残しもの」、「供えもの」を「備えもの」として、行政と連携しながら公共型のペット災害備蓄品にしたり、フード類に関しては賞味期限が訪れますのでローリングストックとして、連携する犬猫保護団体から新たに里親となった家庭に寄付をする事により譲渡活動や終生飼養を促進させ、殺処分減少にも繋げていきます。

※ レインボーアイテム = 色々な目的に合わせて変化しながらその橋渡しになるアイテム





—5つのペット社会課題の解決へ—



KPI 2 : 事業系ペットフードロス減少

事業系ペットフードロス品を公共型のペット災害備蓄品に。
『Re:Born』は、ペットフードロス品を活用した「ペット防災先進都市」を確立します。

事業で発生するフードロスの課題は、ペットフード業界に於いても同じと言えます。年間6000～18000トン存在するメーカーや卸会社、販売店等の「売れのこり」を「憂いのこり」として確保し、公共性をもった災害時のペット用備蓄品にします。行政と連携し、その備蓄拠点を街中に多くある動物病院やトリミングショップといったペット関連事業所、動物専門学校とする事で、日本には未だ存在しない「ペット防災先進都市」の確立を進めていく事ができます。従来廃棄対象となっていた事業系ペットフードロス品をペット用災害備蓄品にする事で、財政から拠出し難い災害時のペット用備蓄を無償で蓄えられると同時に、従来の廃棄ではない新たな価値、役割を創造できる「レインボーアイテム」としてアップサイクルに繋げる事ができます。



—5つのペット社会課題の解決へ—

KPI 3 : 犬猫殺処分減少

本当のゴールは保護されている犬猫がそれぞれ家族の下で生涯暮らせる事。
『Re:Born』は、保護団体と連携し、そのゴールまでの距離を縮めていきます。

行政に於ける殺処分数は減少傾向にあります。しかし、殺処分される可能性のある犬猫が同じ勢いで減っている訳ではありません。その減少は多くが保護団体による犬猫の保護により支えられ、その結果、保護団体の資産と時間を著しく圧迫する事態を招いています。その圧迫を減らすには譲渡活動を進めるしかありません。また、保護施設は人で言うところの孤児院にあたり、人と同じく犬猫にとっても孤児院で一生を終える事が本当のゴールにはなりません。殺処分減少活動への世の中の支援応援は、そのほとんどが保護団体に向けられています。本当のゴールは新たな家族の下で生涯暮らせる事であり、『Re:Born』は譲渡先である「里親側」を「レインボーアイテム」を活用して伴走支援する他にないスキームとなります。そしてそれが結果的に保護団体の保護頭数を減らし、その資産と時間の圧迫を軽減させる事にも繋がります。



—5つのペット社会課題の解決へ—



KPI 4 : 低負担飼養者(里親)増加

人とペットの関わり(絆)により、孤独社会にWell-beingを。
『Re:Born』は、ペットの持つ効用を必要とする家庭におけるペット共生を伴走支援していきます。

ペットと共に暮らす事は、子供や高齢者、障がい者、孤独者に多くのメリットがある事は今や世界中で報告され、2022年には国立環境研究所と東京都健康長寿医療センターの研究チームによって要介護や疾病死亡するリスクが著しく減少する事が発表されました。しかし、実際にはそういった条件を擁する家庭ほど飼う事が難しい実情があり、それには経済的問題や時間的リスクがあります。保護団体によっては同条件を擁する家庭を譲渡先対象から外す事もあり、飼育意向や効用の阻害に繋がるだけでなく、譲渡活動の妨げになる事で保護団体側の負担継続にも繋がります。『Re:Born』と連携した保護団体から犬猫を譲り受けた里親家庭に「レインボーアイテム」を寄付する事によって飼養負担を軽減できると共に、保護団体としても譲渡先対象から外していた家庭にも譲渡の可能性を拡げる事ができます。また、「レインボーアイテム」での伴走支援によって里親の終生飼養の有無が追跡できます。





—5つのペット社会課題の解決へ—

KPI 5 : 公共型災害用ペット品備蓄

被災者は人だけではない。

『Re:Born』は、災害が起こってから気づき、それでも後回しにされるペット被災を、想いの詰まった遺しもののバトンで救います。

日本におけるペットの頭数は今や子供の人口よりはるかに多く、その存在も家族やパートナーという位置付けに変化しています。しかし、全国の行政に於いて人用の災害備蓄はあっても、人と同じくペットにも必要なフードやシーツ、クレート等のペット災害備蓄はゼロと言えます。そのペット災害備蓄品の不備は、ペット自体の命はもちろん、ペットの数だけ存在する飼い主という「人」の避難生活困窮や災害関連死の要因にもなります。『Re:Born』は「レインボーアイテム」であるペットロスト品やペットフードロスを公共性のあるペット災害備蓄品にして官民産学連携で「ペット防災先進都市」の確立を進めていきます。それにより備蓄だけにとどまらず、アニマルウェルフェア(動物福祉)、ペットフードロス問題、ペット災害備蓄への関心、意識が官民共に増すと同時に、自身のペットロスト品を「レインボーアイテム」として次の命にバトンする事で市民同士の相互扶助精神の向上にも期待ができます。また、地方創生のひとつの鍵になります。





ペットロスト
遺しもの



フード、おやつ、水、
ペットシーツ、玩具、
皿、リード、クレート、
ゲージ、防臭剤 etc.

ペット葬儀場
供えもの



—ACTION (ISHIKAWA)—

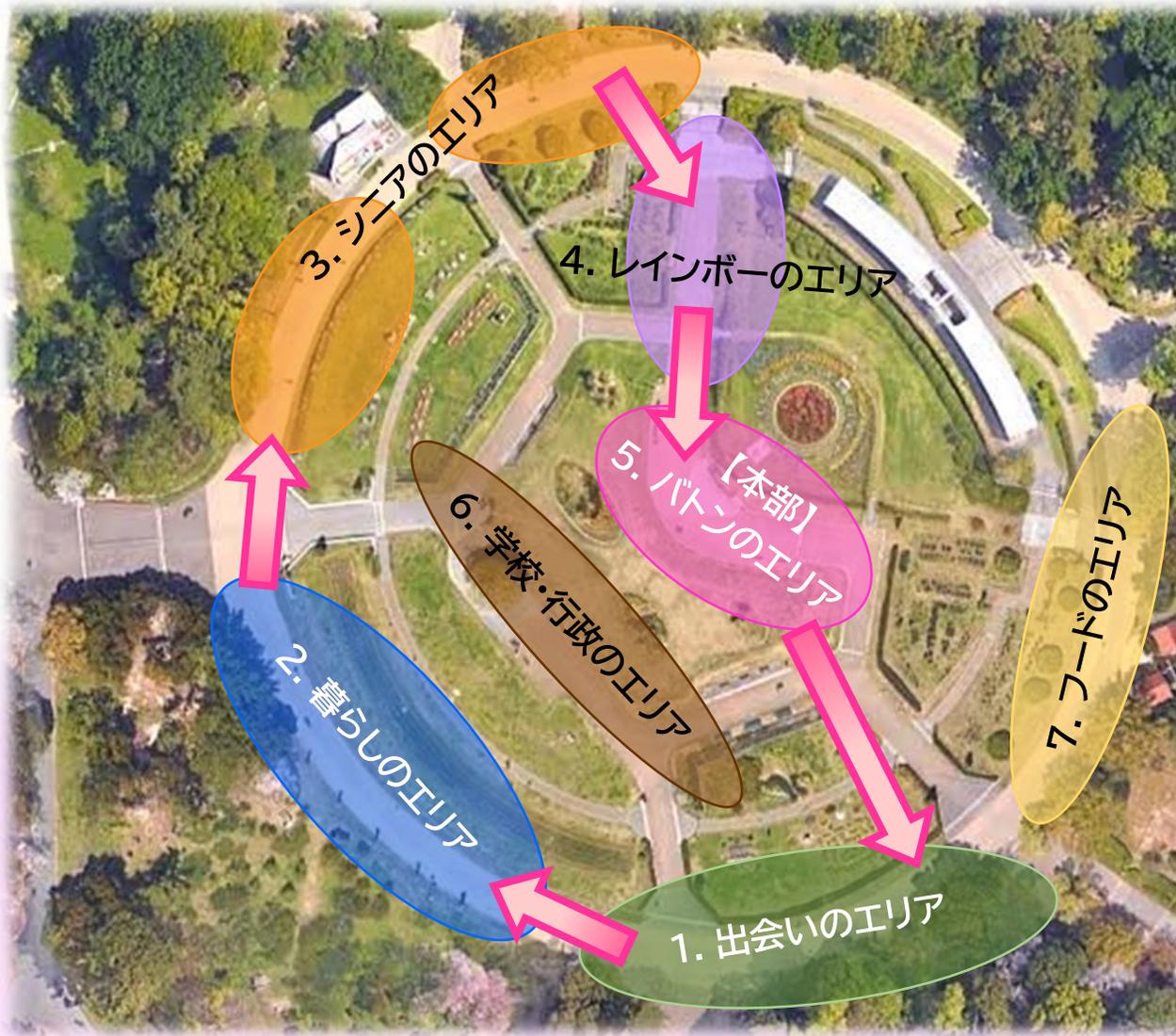


穴水、能登、珠洲、輪島の
ペット同伴被災者へ.....

レインボーアイテムを1件1件寄付

11/9-10 Re:Bornアニマルバトンフェスタ2024

開催テーマ 「 支え合いのバトンでつなぐ未来のペット社会の実現 」



「支え合いのバトンでつなぐ未来のペット社会の実現」

リ:ボーン アニマルバトンフェスタ 2024

多エリアのテーマにそって楽しむための未来へつなげる

Re:Born アニマルバトンプロジェクトとは?

11.9(土)10(日) 10:00-18:00

入場無料

想いが詰まった、ペットロスアイテム(ぬいぐるみフードやおもちゃお買えぬ物)を、**レインボーアイテム**と呼び保護動物を振り廻けた飼い主さんに提供して支援をした。官民連携のペット防災備蓄品にすることによって、ペットと人の命をつなぐ活動です。

馬やウサギの保護動物ブース (パネル販売)

フードブースも多数出店

犬猫の病を癒す移動火葬車の展示もあるよ!

犬猫の病を癒す移動火葬車の展示もあるよ!

ドッグスポーツ体験も!

20m走タイムラン撮影会開催!

エキストラム体験!

日本中を精進&希望のロングで贈らす友対「TOMOSHIBI」キヤンドルナイト

16:00~18:00 予定

主催 一般社団法人 アニマルバトン Re:Bornアニマルバトンフェスタ2024実行委員会

協力 大阪ECO動物海洋専門学校

後援 豊中市

出逢い〜お別れ、そして、次の命につなぐテーマ別

7つのエリア

01 出逢いのエリア
ペットの幼少期や保護動物に関する事

02 暮らしのエリア
ペットとの暮らし全般に関する事

03 シニアのエリア
ペットのシニア期に関する事

04 レインボーのエリア
ペットとの別れに関する事

05 学校・行政のエリア
大阪ECO動物海洋専門学校や動物福祉など

06 フードのエリア
キッチンカーなど楽しい食事エリア

07 フードのエリア
キッチンカーなど楽しい食事エリア

Re:Born ANIMAL BATON FESTA 2024

「ペット」(愛玩)の呼び名は一方的?
共に暮らす動物たちの新しい呼び方を考えてみませんか?

これからは、「ペット」ではなく「OOと呼びたい!」
「ペット」に代わる呼び名大募集!
【日本中に広がるかも】

お家にある**レインボーアイテム**
ペットが亡くなってしまった時に渡されるフードやペット用品、又は不要になったフードやペット用品等を持ってきてください! Re:Born を持ってきてください!

能登半島のペット被災者に届けに行きます!

ペットとご一緒のご来場者様へご協力をお願い致します。

- マナーバツンの着用にご協力ください。
- 排遺物はゴミ箱に捨てずにお持ち帰りください。
- 進入禁止の区画は入らない様に注意願います。
- 騒音、迷惑行為は控えてください。
- リードは必ず着用し、手から離れない様に注意願います。

クラウドファンディング READY FOR 挑戦中

クラウドファンディングご支援をお願いします

一般社団法人 アニマルバトン Re:Born

0120-110-234

reborn@aiken-kyosei.com

【 大阪府豊中市 服部緑地 円形花壇にて 】



来場者 18500人 / ペット 5700頭

来場の民間の方から、トラック1.5台分の「レインボーアイテム」を託されました。

西日本最大級のソーシャルペットイベントに



次回、Re:Bornアニマルバトンフェスタ2025

2025/11/1-2
来場者20000人

日本最大級のソーシャルペットイベントに

能登半島ペット共生被災者へバトン

2024/12/18-19 (第2次)





—CONTACT / ENTRUST / DONATION—



〈本部〉

一般社団法人 アニマルバトン

0120-110-234

〒561-0874 大阪府豊中市長興寺南4-3-21

TEL06-4865-6006 : FAX06-4865-6009

MAIL : reborn@aiken-kyosei.com